

支出命令書

決裁日 28年9月6日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局	起票日	平成28年9月6日	整理番号	2270-17
----	--------	-----	-----------	------	---------

年度	平成28年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算
----	--------	----	------	------	-------

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥50,000	検収者	印
----	---------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い	1.現金 2.小切手
	住所	金融機関		
	名称 日本共産党代表者 田立 恵子	支店		
	職氏名	預金種別		
		口座番号		
		伺残額		¥413,008

摘要	研究研修費	支払予定日	平成28年9月21日
	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾	支払明細整理番号	007
	振興会における産業都市合同視察参加負担金	請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年9月21日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立恵子</p>	<p>収入印紙</p>	<p>支出負担行為確認</p> <p>支払済</p>
--	-------------	----------------------------











2016000227001173

泉大津市



会 28.9.6

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 6日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	50,000円		
内 訳	10/13~10/14 平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における産業港湾都市合同視察 参加負担金		
支払先	泉大津港湾振興会		
予算科目	研究研修費	交付残額	413,008円
使用者名	森下 巖		

泉港振第15号
平成28年8月22日

泉大津港湾振興会顧問
泉大津市議会副議長
森下 巖 様

泉大津港湾振興会
会長 伊藤 晴彦

平成28年度堺泉北港地元港湾振興会における
産業港湾都市合同視察の実施について（ご案内）

残暑の候、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本振興会の事業運営に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年も他港の港湾施設等を視察し、今後の港湾振興の一助とするとともに、会員相互の親睦を図るため、下記のとおり堺港湾振興会、高石港湾振興会及び泉大津港湾振興会において産業港湾都市合同視察を実施いたします。

つきましては、ご多忙とは存じますがご参加くださいますようご案内申し上げます。

記

- ① 視 察 先 富山県 伏木富山港 ほか
- ② 実 施 日 平成28年10月13日(木)～10月14日(金)
- ③ 参加負担金 50,000円
- ④ 申 込 方 法 別紙申込書により、9月2日(金)までにFAXでお申し込みください。
(申込先) 泉大津港湾振興会事務局
FAX [REDACTED]
- ⑤ 参加費振込先 銀行名 [REDACTED]
口座番号 [REDACTED]
口座名義 [REDACTED]

9月26日(月)までにお振込ください。

※ 参加申込をいただいた方には、後日詳細をお知らせします。

領 収 書

平成28年9月26日

森下 巖

様

金50,000円也

ただし、平成28年度堺泉北港地元港湾振
興会産業港湾都市合同視察費用として上記
金額正に領収いたしました。

泉大津港湾振興会









事務局長

山並

典正



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	平成28年10月27日				
差出名		日本共産党 森下 巖							
あて名		泉大津市議会議長			提出期限				
收受文書の記号				收受文書の日付	平成28年10月26日				
件名		報告書							
議長		副議長		事務局長		次長		合	
									
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議
									
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項									
<p>日 時：平成28年10月13日（木）～10月14日（金）</p> <p>出張先：富山県広域消防防災センター、伏木富山港</p> <p>目 的：堺泉北港地元港湾振興会産業都市合同視察に参加</p>									

堺泉北港湾地元港湾振興会産業都市港湾都市合同視察

報 告 書

平成 28 年 10 月 26 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 日本共産党

出張者氏名 森下 巖 印

下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

日時：2016 年 10 月 13 日(木) ～ 14 日(金)

出張先：1 日目：富山県広域消防防災センター「四季防災館」

※施設概要等については、資料等の配布が無かったため、ホームページの別紙資料を添付したので参照

2 日目：富山県 伏木富山港<国際拠点港湾>

※2 日間の行程は別紙の通り

目的 堺泉北港湾関係者と共に、防災などの災害対策についてや、これからの港湾施設のあり方などを学ぶため

視察内容及び所見(別紙)

所 見

1 日目の富山県広域防災センターの中の「四季防災館」で体験型の防災学習を経験した。センターと四季防災館の概要は<別紙>の通りである。

センターは県の消防学校などの機能があり、日常的には消防士など防災関係者の学習訓練が行われ、県民への防災教育が行われている。しかし、ひとたび大規模災害発生すれば、県の防災対策本部が置かれるなど災害対策拠点施設になり、県外からの応援部隊の受け入れや救援物資の拠点施設となるということで、広大な敷地に十分な訓練ができる施設、空間が保障されていた。

その中の消防防災に学ぶことができるのが四季防災館で、そのメインが体験型の施設が多くあり、実際に体験しやってみることで気が付くことなど、参加者が主体的に学ぶことができるもので、誰もが一度は経験すればよいと思うことばかりであった。

私たちがまず体験したのが、暗い室内での火災で煙の中を非常灯に従って進む訓練で、中が少し迷路になっているのでどの辺りにいるのか、低い姿勢で進んでいるのかが外からはランプで分かるようになっていた。

次に 30 メートルの暴風だけや暴雨風雨、雨も体験ができ、私はカップも着込んでの暴風雨の体験を行なった。強い雨風が吹くが、事前に分かっていることや手すりもあり安全も確保されているため思いの他大丈夫ではあったが、これが突然の暴風や雨などの場合ではずいぶんと違いはあるだろうが、経験することで瞬時でも取れる姿勢や安全の確保につながるのではないかと思った。

そして、地震の揺れの体験は震度の大きさの違いから、阪神淡路、東日本大震災、高層ビルなどでの長周期震動などの揺れを体験し、それぞれの特徴があり、大きく違うことなどが分かった。これもそうした心構えにとっても大事な点であり、自分のいる地域や状況によつての対応も違ってくるのだと感じた。他にも、凸凹の道を視覚障害の方同様に目隠ししたり、車いすで行く体験や、災害時の通報訓練など時間があればさらに体験し学べる状況になっていた。

子どもたちにとってもこれはすごくよいやり方だと感じましたが、特に災害弱者の体験度すれば、その人の身になって対策や対応などを考えていくことにつながると思った。

翌日の 2 日目は、いよいよ港湾施設の富山県「伏木富山港」への視察。

伏木地区、新湊地区、富山地区と 3 つの地区に分かれていて、日本海側で 2 つの国際拠点港湾のひとつに指定がされていて、日本海側では 1 番の取扱量を誇っているということだった。3 つに分かれての港湾がそれぞれの役割を担い運営されている点などは堺泉北港とも似ていることがあり、それぞれの条件や状況を活かしていることが分かった。








最初に集まって説明を受け、資料を拝見した時に強く感じたのだが、それは日本地図を逆さにした地図の資料に表されていたように、いかにロシアや韓国、中国に近いだけでなく、日本国内でも関東、中部、関西に比較的同等な距離に富山があり、その優位性を最大限にアピールをして伸びていること。そして、それぞれ3つの地区の港湾の状況から、河川近くの地区で堆積土砂の除去などをしなければならぬなどからそれを利用し新たな整備を進め、今日に至ったのはある意味で必然のように感じた。

その後は新湊大橋の高層から港湾全体を展望し状況を確認した。この橋は国の事業として行われ、車だけでなくその下に歩行者用の通路が設けられた2重構造になっていて、新たに整備が進んだ新湊地区の住民への対策利便性も考えられてのことで地域を巻き込んだ整備だったことが伺えた。



そして、ガントリークレーンのあるコンテナヤードに行き実際に作業にあたった方から、荷物や荷揚げの状況や作業での取り組みの状況を詳しく聞くことができた。話の詳細は専門的で詳しくは述べられないが、国と県、地元、企業などが一体となって運営管理にあたり、整備してきたということだけでなく、このエリアを新たな賑わいの場としても発展させていこうということが、帆船「海王丸」の係留、見学などできたり、それを含めた橋のライトアップ、ピクニック広場、何より港湾から望む立山連峰の景観は素晴らしく、それが観光資源となっていて「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟しており、世界的にも評価をされているということで、豊かな水産などの資源と合わせての魅力があると感じた。

支出命令書

決裁日 28年 9月 12日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月12日	整理番号	2270-18
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥1,010			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称 日本共産党代表者 田立 恵子			支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥411,998	
摘 要	広報広聴費			支払予定日	平成28年9月28日	
	議会傍聴よびかけ隊チラシ(9月分)製作料			支払明細 整理番号	001	
	分担金			請求書番号		

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年9月28日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立恵子 </p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;">収入印紙</div>	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支払済</p>
--	---	---











2016000227001182

28.9.12

泉大津市



供	議長	副議長	局長	次長	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査
覧								


別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 12日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	1,010円		
内 訳	議会傍聴よびかけ隊平成28年9月購入分チラシ製作料分担金		
支払先	(株) キングプリンターズ		
予算科目	広報広聴費	交付残額	411,998円
使用者名	日本共産党		

議会傍聴よびかけ隊
平成28年9月購入分チラシ製作経費分担計算書

株式会社キングプリンターズ 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21	
A4チラシ 3,000枚	8,586円(消費税込)①

① ÷ 議員数 8,586 円 ÷ 17 人 = 505.0588 円②

【分担額】

日本共産党 ② × 2人 =	1,010 円
市民トライネット ② × 2人 =	1,010 円
公明党 ② × 3人 =	1,515 円
おづ ② × 3人 =	1,515 円
市民クラブ ② × 3人 + 端数1円 =	1,516 円
立志会 ② × 2人 =	1,010 円
井阪 正信 ② × 1人 =	505 円
草刈 与志子 ② × 1人 =	505 円
合計	8,586 円

領収書

領 収 証

No. A 14837

泉大津市議会 様

平成28年9月5日

金額	百	千	円
		8586	

よびかけ隊チラシ 3,000部

注文番号: N-0093-9223

上記の金額正に領収いたしました

KINGprinters

現金	
小切手	
手形	
相殺	

株式会社 キングプリンターズ

〒555-0013 大阪府大阪市西淀川区千船2-10-21
TEL:06-6195-2365 FAX:06-6195-2369

取扱者

皆さんの関心やお声は議会活性化の大きなチカラです。

泉大津市議会では、意見の違いを越えて、

議会と市民皆さんとの接点づくりを全議員で進めています。

議会は意外とおもしろい

議会では、さまざまな提案があります。

対立することもあれば、意見が一致することもあります。

そうやって、まちの今と未来が創られています。

一度議会を覗いてみてください。そして、声を届けてください。

市議会は、どなたでも傍聴することができます。
傍聴を希望される方は、市役所6階傍聴席までお越しください。(定員60名)

また、議会開会中は、市役所1階ロビーのテレビで市議会の模様を放送しています。

インターネットによる議会中継の配信も実施中!! (生中継と録画放送)

ホームページのリニューアルも行いました。
ぜひご覧になってください。

泉大津市議会

検索







クリック

泉大津市議会 議会傍聴よびかけ隊



支出命令書

決裁日 28 年 9 月 20 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成28年9月20日	整理番号	2270-19
-----	--------	-----	------------	------	---------

年 度	平成28年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
-----	--------	-----	------	------	-------



款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金 額	¥5,974	検収者	印
-----	--------	-----	---









控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債 権 者	登録No. 99999	支払区分	用紙振込 1.現金 2.小切手
	住 所	金融機関	
	名 称 日本共産党代表者 田立 恵子	支 店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺 残 額	¥406,024

摘 要	通信費	支払予定日	平成28年9月30日
	NTT電話料金(8月分)	支払明細 整理番号	小切手支払
		請求書番号	

上記の金額を領収しました。 平成28年9月30日 泉大津市会計管理者 様	収入印紙	支出負担行為確認 
住所		支 払 済
名称		
氏名 日本共産党代表者 田立 恵子		



供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 20日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	5,974円		
内 訳	NTT電話料金(8月分)		
支払先	NTT西日本		
予算科目	通信費	交付残額	406,024円
使用者名	日本共産党		



西日本電信電話株式会社
ビジネスSSC (金沢)

595-0026

泉大津市東雲町9-12

泉大津市役所方
泉大津市 日本共産党議員団 様



TEL(無料) 0120-424923

〒920-0963

金沢市 出羽町

4-1 NTT出羽町ビル

社用 201201311001 10656 10656 00*
コード

NTT西日本料金請求書
(NTT WEST-Bill)

平成 28 年 9 月 15 日発行

日ごろ、NTT西日本をご利用いただきましてありがとうございます。
裏面のお支払場所にこの請求書をご持参のうえ、お支払いください。

※お問い合わせの際は、番号をよくお確かめのうえおかけください。

料金お問合せ先 ビジネスSSC (金沢)

0120-424923 (無料)

お客さま請求番号	ご請求年月	ご請求額 (Charge)	お支払期限 (Due Date)
[Redacted]	平成 28 年 9 月分	5,974円	平成 28 年 9 月 30 日
ご請求の内訳	金額 (円)	お知らせ	
NTT西日本ご利用分 (合計)	5,974 5,974	詳細については、別添の「ご利用料金内訳書」をご覧ください。	

- お支払期限後に支払われた場合は、年14.5% (1日当たり約0.04%)の延滞利息をお支払いいただく場合もあります。
- ご利用料金の内訳については、次ページをご覧ください。

↓下の部分を切り取り、裏面の各お支払場所にてお支払い願います。 <切り取り線>

電話料金等領収証
(Receipt)

お客さま請求番号

お客さま氏名

泉大津市 日本共産
党議員団 様

金額

平成 28 年 9 月分

5974円

55、消費税相当額

442円

西日本電信電話株式会社

ビジネスSSC (金沢)

料金お問合せ先(無料)

0120-424923



(お客さま)

支出命令書

決裁日 28年 9月 26日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成28年9月26日	整理番号	2270-20
年 度	平成28年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算

款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金 額	¥2,868	検収者	印
-----	--------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------









債 権 者	登録No. 99999	支払区分	用紙振込 1.現金 2.小切手
	住 所	金融機関	
	名 称 日本共産党代表者 田立 恵子	支 店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺 残 額	¥403,156

摘 要	通信費	支払予定日	平成28年10月5日
	インターネット接続料(7・8月分)	支払明細 整理番号	小切手支払
		請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年10月5日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立恵子 </p>	<p>収入印紙</p>	<p>支出負担行為確認</p> <p></p> <p>支 払 済</p>
---	-------------	--------------------------------------



2016000227001208


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月26日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 日本共産党
代表者名 田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	2,868円		
内 訳	インターネット接続料(7・8月分)		
支払先	NTTファイナンス株式会社		
予算科目	通信費	交付残額	403,156円
使用者名	日本共産党		

請求書 (コムご利用分)

595-0026
 泉大津市東雲町9-12

泉大津市役所内
 日本共産党泉大津市議員団 様



016092101058805370

07759



NTTファイナンス株式会社
 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

発行年月日 2016年 9月21日発行
 発行会社 NTTファイナンス株式会社
 料金センター
 お問い合わせ先 0800-3332000 (無料)
 【還付先】
 〒810 福岡市中央区白金1丁目20-3
 -0012 紙与薬院ビル3階
 社用コード R30021311002 07759 07759 00 T
 62 000000 1 1 16090401T

日頃、NTTファイナンスをご利用いただきまして誠にありがとうございます。
 下記に記載の料金をご請求させていただきますので、お支払期限までに裏面に記載されている場所でお支払いをお願いします。

(1 / 2 ページ)

お客様電話番号等 (BILLING NUMBER) お客様番号 (CUSTOMER NUMBER)	請求年月 (MONTH OF ISSUE)	ご請求金額 (TOTAL AMOUNT)	お支払期限 (DUE DATE)
[REDACTED]	2016年 9月ご請求分	2,868円	2016年10月 5日(水)

お 知 ら せ

【NTTファイナンスからのお知らせ】

*** NTTグループ各社ご請求金額 ***
 NTTコミュニケーションズ分ご請求額
 (合計)

2,868円
 2,868円 詳細については、「ご請求内訳」をご覧ください。

*** NTTファイナンスからのお知らせ ***

請求書(払込取扱票)表記の口座記号番号は、お客様振込用の口座番号ではございませんのでご注意願います。
 なお、料金の支払いについては、払込取扱票の裏面に記載しております弊社指定の「お支払方法」でお支払いください。

【NTTコミュニケーションズからのお知らせ】

7079-512-994

※隔月請求のお知らせ

2012年10月ご請求分より、偶数請求月(2月・4月・6月・8月・10月・12月)のご請求額が
 「3000円未満(税込)」の場合、翌月(奇数月)にまとめてご請求をさせていただいております。

なお、契約状況等によっては、偶数月であってもご請求させていただく場合がございます。

(URL) <http://mypage.ocn.ne.jp/ksupport/bill/kakugetsu.htm>

毎月請求を希望される方は、お手数ですが0120-506-100までご連絡ください。

既にご連絡をいただいたお客さまにも一律ご案内を記載いたしております。あらかじめご了承ください。

電話料金等払込受領証

コムご利用分

ご請求先氏名
 日本共産党泉大津市
 議員団 様

お客様番号

2016年 9月ご請求分

金額(円)

¥2,868-

受取人

NTTファイナンス株式会社

お問い合わせ先(無料)

0800-3332000

領 収 日 附 印



収入印紙貼付欄

(金融機関・CVS用)→お客様

ATMまたはゆうちょ銀行郵便局でお支払いの場合、背面2枚をお出しくたさい。上記以外でお支払いの場合は切り取らないでください。

支出命令書

決裁日 28年 9月 27日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局		起票日	平成28年9月27日	整理番号	2270-21
年度	平成28年度	会計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議会費			確認事項	確認
項	1	議会費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費			源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金額	¥7,000			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No.	99999		支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住所			金融機関		
	名称	日本共産党代表者 田立 恵子		支店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺残額	¥396,156	
摘要	研究研修費			支払予定日	平成28年10月11日	
	10/19~10/20 第11回全国市議会議長会研究			支払明細整理番号	001	
	フォーラム 参加負担金			請求書番号		









<p>上記の金額を領収しました。 平成28年10月11日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立 恵子</p>	<p>収入印紙</p>	<p>支出負担行為確認</p> <p>支払済</p>
--	-------------	----------------------------

2016000227001217

泉大津市

28.9.28

184109118 11:45 0010-001 3P0 TH9-2 7,000 7/9

供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								


別記様式第5号（第4条関係）

政務活動費交付請求書

平成28年 9月27日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,000円		
内 訳	10/19~10/20 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金		
支払先	(株) JTBサポート中部		
予算科目	研究研修費	交付残額	296,156円
使用者名	森下 巖		

開催概要

■日時

第1日目:平成28年10月19日(水) 13時00分開会(開場・受付 12:00)

第2日目:平成28年10月20日(木) 9時00分開会(開場 8:30)

■場所 グランシップ大ホール・海(静岡県コンベンションアーツセンター)

静岡県静岡市駿河区池田79-4

[意見交換会場:ホテルセンチュリー静岡 静岡市駿河区南町18-1]

※会場等へのアクセスについては、P.5「会場へのアクセス」をご参照ください。

■主催 全国市議会議長会

■後援 総務省(予定)

■実施 第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

■プログラム内容

第1日目(10/19)

第1部 基調講演「二元代表制と議会の監視機能」大森 彌 東京大学名誉教授

第2部 パネルディスカッション「監視権の活用による議会改革」

コーディネーター 江藤 俊昭 山梨学院大学大学院研究科長・教授

パネリスト 斎藤 誠 東京大学大学院法学政治学研究科教授

土山 希美枝 龍谷大学政策学部政策学科教授

谷 隆徳 日本経済新聞編集委員兼論説委員

栗田 裕之 静岡市議会議長

第3部 意見交換会

第2日目(10/20)

第4部 課題討議「監視権を如何に行使すべきか」

コーディネーター 佐々木 信夫 中央大学経済学部教授

事例報告者 3市(予定)

第5部 視察

■定員 2,500人 ※詳細は、P.8~9「参加申込みのご案内」をご参照ください。

■参加費 1人7,000円 /

森下 巖 様

受付番号 1238-8

請求書NO. 16006-00995

株式会社JTBサポート中部
営業開発部 中部MICEセンター
営業開発部長 中谷 武史



〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-17-18
キリックス丸の内ビル7階

【TEL】052-218-2007【FAX】050-3737-8303

担当: [Redacted]

ご請求書

この度は弊社をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。
下記のとおりご請求申し上げます。

ご請求金額	¥7,000※
-------	---------

【内訳】

項目	単価	人数	金額	摘要
フォーラム参加費	¥7,000	1	¥7,000	
請求金額合計			¥7,000	

【備考】

振込口座のご案内

【店名】 [Redacted]

【種別】 [Redacted]

【口座番号】 [Redacted]

【口座名義】 [Redacted]

★お振込みの際は、お名前の前に必ず 1238-8 をご入力くださいませ。

お振込み期限: 10月13日(木) まで

※振込手数料はお申込者様負担となります。あらかじめご了承くださいませ。

泉大津市議会
森下 巖 様

参加費領収証

金 7,000 円

第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡の参加費として
上記のとおり領収いたしました

平成28年10月19日・20日

第11回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
委員長 岡下 勝彦

1238-03 1731

東京都千代田区平河町2-4-

支出命令書

決裁日 28年 9 月 27 日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所属	市議会事務局	起票日	平成28年9月27日	整理番号	2270-22
年度	平成28年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		









金額	¥45,200	検収者	
----	---------	-----	--

控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 日本共産党代表者 田立 恵子	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥350,956

摘要	旅費 10/19~10/20 第11回全国市議会議長会研究 フォーラム 参加旅費	支払予定日	平成28年10月18日
		支払明細整理番号	001
		請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成28年10月18日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 日本共産党代表者 田立 恵子</p>	<p>収入印紙</p> <p></p>	<p>支出負担行為確認</p> <p></p> <p>支払済</p>
--	---------------------	------------------------------------



供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成28年 9月 27日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名
代表者名

日本共産党
田立恵子 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	45,200円		
内 訳	10/19~10/20 静岡市 第11回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	森下 巖		
予算科目	旅 費	交付残額	250,956円
使用者名	森下 巖		

平成28年度









領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	日本共産党			氏名	森下 巖				
出発・帰庁年月日	出発 28年10月19日			帰庁 28年10月20日					
出張先(順路)	グランシップ大ホール(静岡県静岡市駿河区池田79-4)								
目的及び用件	第11回全国市議会議長会研究フォーラムin静岡に参加								
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計	
泉大津 (南海本線)	km	円	円	円	円	円	円	円	
難波		440						440	
" (地下鉄御堂筋線)									
新大阪		280						280	
" (東海道新幹線)	376.2		特急料金 (ひかり)						
静岡	378.7	6,260	4,620					10,880	
" (東海道本線)	2.5				1泊 15,000	2日 7,000			
東静岡								22,000	
" 			特急料金 (ひかり)						
復路		6,980	4,620					11,600	
							計	45,200	
右の金額領収いたしました。					金額	¥ 45,200			
平成 年 月 日					職名	日本共産党			
泉大津市会計管理者 殿					氏名	森下 巖			



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号				收受年月日	平成28年10月27日								
差出 名		日本共産党 森下 巖											
あて 名		泉大津市議会議長			提出期限								
收受文書の記号				收受文書の日付	平成28年10月27日								
件 名		報告書											
議長		副議長		事務局長		次長		合					
													
主 管	次長補佐		議事調査係長		庶務係長		主査		議				
													
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項													
<p>日 時：平成28年10月19日（水）～10月20日（木）</p> <p>出張先：静岡市コンベンションセンター グランシップ大ホール</p> <p>目 的：第11回全国市議会議長会研究フォーラムに参加</p>													

第 11 回 全国市議会議長会研究フォーラム

報 告 書

平成 28 年 10 月 27 日

泉大津市議会議長 様

(会派名) 日本共産党

出張者氏名 森下 巖



下記により出張しましたので、その概要について報告いたします。

記

1. 日時 平成 28 年 10 月 19 日(水) ～ 10 月 20 日(木)
2. 出張先 静岡県静岡市コンベンションセンターグランシップ大ホール
3. 目的 第 11 回 全国市議会議長会 研究フォーラムを受講
4. 報告事項 日程、講師別紙添付

所 見

全国各地の市議会議員、議会事務局から約 2500 名の出席があり、地方議会の機能強化や共通する課題、今後の議会のあり方などについて行われものだが、今回は議会の監視権をテーマに、議会改革や監視権の行使を如何にして行うかなど基調講演、パネルディスカッション、課題討議などが行われた。

基調講演は、「二元代表制と議会の監視機能」と題して大森東京大学名誉教授から話がされた。国は地方分権改革という名で地方の時代と言いつつ、その主たるやり方は一人の首長がいかに仕事がしやすく、権限が集中するような制度、改革となっており、そこを使って良くも悪くもコントロールできるようにしようとしている。しかし、国会の多数派形成などの統治のあり方とは違う地方議会には首長とは別の別個に選ばれた議員がおり、この首長と議員の二元的代表制（すっきりとそう言えない日本の状況から講師が二元的と呼んでいる）に内在する対立は、国の与党、野党という議員間の対立では済まされない、執行機関との対立というものも存在している。その中で議決機関としての役割、権限そのものが広い意味での監視機能となっている。

首長は予算編成権など執行機関全般を執り行う権限があり、その情報など一議員が得ることが出来るものとは比べようがないものがあるが、地方議会は住民自治の根幹を成すものであり、住民のために行われているかどうか議会のものとも言え、アセンドリー(討議する集団)としての役割をどう果たすのかが問われている。近年、暴走首長が出てきたときに議会全体での対応などで現れているが、それは例外的なことであり、対立だけをあおるのではなく住民の立場での意思決定をするための議論、調整、そして政策立案などを行っていくことの重要性を強調された。

その中で議会の存在理由を示すには「チーム議会」という議会としての集合体として形成していくことの必要性を言われた。その為の議員間討議や政策討論会はやぶさかではないが、全会一致を前提とした進め方、はじめからチームだということにはならない。調査・検討・議論の末に一致できることは、あくまで住民、市民の立場での一致であり、先走ってその本質を見失うようなことにはならない。

講師の「議会が 1 歩でも良くなることが、日本の地方自治を良くする事だ」という言葉が大変印象に残った。

講演後のパネルディスカッションは、「監視機能の活用による議会改革」として各分野の専門家から問題意識や提起があった。

コーディネーターの江藤山梨学院大教授から現状認識として、この10年で議会基本条例を定めた自治体が700を超えるなど議会改革が進んできたことから、この改革を住民の福祉の向上にどうつなげていけるかがこれからのポイントであり、第2段階に入ったと指摘があった。通年的な議会の連続性や住民を起点とした各種計画、予算決算などの政策サイクルに見合った監視と政策提言の必要性についても語られた。今回の主な論点として監視権をどう使いこなすか、決算などの財務過程と議会との関わり、監視委員制度の意味を問われた。

パネラーの斉藤東大法学政治学教授は、専門の法的な視点から、過去の判例も示しながら、議会の監視権の充実強化のために、議決事件の対象についての条例で定めることができる範囲を現行よりも拡大すべきであるとしつつも、執行権に対する過度な制約は違法、不当となるとしていた。示された判例は議決を必要としない売買契約や第3セクターへの損失補てん、先決処分のあり方、議決事件をめぐってであり、このグレーゾーンともいえる部分での説明責任や監査体制のあり方が問われていると感じた。

土山龍谷大学政策学部教授からは「市民生活の基盤となる、市民が必要不可欠とする政策、制度を整備すること」は、執行機関の役目で、議会の機能によって制御するものとした上で、「よりよい政策実現のため双方の権限を自ら行使して役割を果たす」ことだが、そこに市民からの信託だけでなく直接的な制御の市民システムとしての議会のあり方を問われた。そのひとつが議会としての事務事業評価を体系的に取り組み、市民の声を各種政策に反映させる取り組みや、議員の質疑、一般質問などでの「政策上の気づきや提起」を委員会や議会の調査につなげていく仕組みとして、北海道根室市の本会議後の意見交換会(クローズ)で、所管調査につなげる事例の紹介がされた。

メディアからの視点で日経新聞の谷編集論説委員からは、議会改革としての情報公開はネット中継など進んできたが、議会報告会などの住民参加は模索中で、議会の監視権は向上したのか？という疑問点が出された。依然形式的な面と、首長に対しての「与党」「野党」という会派制の限界があるのではないかと問われた。決算審議の重視と議会による事務事業評価を4%だけが実施がされている群馬県太田市、兵庫県加古川市、市民の意見を反映させる議会報告会を行っている長野県飯田市の取り組みが紹介がされた。

ご当地の議会として、監視権の活用による議会改革として静岡市議会議長より報告があった。日常の議会活動で監視機能を発揮することが重要だとして、あるべき姿を定めて個々の議員や会派で実践していくものと、議会として組織体として議論を深めて議員発議条例や政策提言を行ってきたことの紹介があった。

2 日目は、課題討議と言うことで「監視権を如何に行使すべきか」をテーマに、各地の議会からの実践の取り組みでの議論となった。コーディネーターは佐々木信夫中央大学経済学部教授で、「地方議員の逆襲に期待する」として地方議会、地方議員は変わるか？と、政策能力を高め議会提案、審議の質を高めるのかと言うことで、一般質問や代表質問の有効性、100 条調査権など監視権の有効性、議長に議会召集権を与えるべきではないか、通年議会についてなど報告者とも意見交換しながら進められた。

「議員はどうあるべきか～100 条委員会を通じて～」神奈川県藤沢市議会全副議長の佐賀氏、「付属機関への参画と監視機能」和歌山市議会運営委員長の井上氏、「地方創生に関する政策提言」大分県日田市議会議長の嶋崎氏からそれぞれ報告があり、コーディネーターとのやり取りがあった。

藤沢市では、土地先行取得に関わる疑惑で、当初 100 条調査委員会設置に反対していたいわゆる与党派の議員が、設置して以降副委員長として関わっての報告だった。市民マスコミの押し上げの中で、議会全体として委員会の設置、その後の徹底した調査、経緯の把握の中で不当なものとして認定し、76 ページに及ぶ報告書を作成し市長に対して強く措置を求めた事案は大変興味深く聞き、その際の必要性から議員間討議がはじまり、議会改革が進んだことは「議員はどうあるべきか」が問われ、まさに議会としての役割をどう発揮するのかと迫られてのものだった。

和歌山市議会からは 26 もの付属機関に参画している報告があった。メリット(事前に行政の考えが把握できる)、デメリット(議会が審議会の意見に縛られる)などが述べられた。その為に全ての検証、根拠別の見直し検討などがされその必要性を現在も検証中ということだった。一定その年度ごとに監視も含めた必要性のある各種運営協議会と、その都度の計画などの審議会では自ずと違ってくるし、何より参画する議員のスタンス、意見のみが反映されるのであれば、議会としての役割と言う点では違ってくるし、どの程度の必要性があるのかどうかはよく分からない内容だった。

日田市議会の取り組みは、市の将来ビジョン的なものになる日田市版まち・ひと・しごと創生総合戦略に関して、議会として積極的に関わるべく(議会が蚊帳の外に置かれかねないという危機感からも)政策提言を行った。市が示した 4 つの基本目標に対して、各委員会ごとに分担して、市内全 20 地区公民館で議会報告、意見交換会を開催して市民の意見を聴取し、班ごとに整理、委員会ごとの提言の協議を行い全員協議会で確認周知し、政策提言を行ったことは特筆に価することだと思った。市長への提言を行い、具体的施策の中に一部だが入り入れられるなどの成果とともに、市民と執行部とも共有した計画策定につながったのではないかと考える。

住民目線で行政をチェックしつつ、その上で議会としての役割として、決定者、監視者、住民代表としての政策提言ができる議員、議会のあるべき姿、あり方を学ぶことができた。